



きもの二十四節気

白露 「はくろ」、秋分 「しゅうぶん」

寒露 「かんろ」、霜降 「そうこう」

「甲子園と衣替え」

中谷比佐子

今年甲子園が始まって一〇〇百年だそうですね。建てられた大正十三年の十二支が子年、十干が甲(まゐ)と、それで甲子園という名をつけたそうです。

春の甲子園が終わると本当の春が来ます。そうすると私は厚手のコートで仕舞い、着物も真綿紬の物から生糸の紬に替え、また古代縮緬の着物も暫くやらずで貰います。

始球式のサイレンが鳴った頃は、まだ肌寒く、シヨールも厚手なものにして暖を取っていますのに、決勝戦が終わるあたりは、一面春。

そして夏の甲子園、今年は大ファン「王貞治」さんが始球式に出場。早稲田実業で出場した頃の姿をリアルに見ている私にとって、マウンドに上がって投球ホームを見たとき胸に詰まるものが有りました。

見事にストライク、マウンドでの王さんは誠実そのもののお人柄でした。

KOSMOS屋 夏物下着を今だけ 20%off!

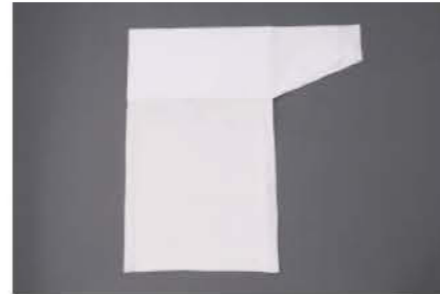
酷暑が続いたこの夏、大人気だった夏下着シリーズ、今だけ価格で頒布いたします。9月19日(土)までにご注文ください!



1. 涼肌襦袢 (麻)
1枚で2役!うそつきの袖なし版
本体のみ 15,000 → 12,000円
麻紹衿付 20,200 → 16,160円



2. 肌襦袢 (絹/絹)
9,500 → 7,600円



2. 湯文字 (絹/絹)
7,000 → 5,600円



股われ (絹/絹)
10,400円

価格は、いずれも税込です

● 比佐子好みのきもの ●

チャコちゃん先生がずっと着続けてきたホンモノのきものたち。改めて、ひとつずつご紹介していきます。いずれも基調な染織品となったいま、じっくりと手にとってご覧ください。

■ 9月は『お手入れアレコレの会』

14日(月)～19日(日)10:00～19:00
少し寸法が合わなくなってしまったもの、もうシミが取れないもの、色が派手になってしまったり着れなくなったもの等々、相談承ります。夏物の汗抜き、シミ落としなども承ります!

★ 15日は実践レクチャー! 染洗いの超ベテラン高橋染洗店の高橋信一郎さんに、アレもコレも聞いてみましょう。 13:30～15:30 参加費: 無料

■ 10月は『繰り回しの会』

12日(月)～17日(日)10:00～19:00
寸法直しだけでなく、羽織から帯、着物からコートなど、アイテムを変えて繰り回し等もしますので、諦めないでお持ちください。とりあえずご相談ください。

★ 13日は実践レクチャー! プロ和裁士が来場しますので、自分に合った寸法、仕立ての工夫も聞いてみましょう。 13:30～15:30 参加費: 無料

* 11月は『帯仕立ての会』を予定しています。
12日(月)～17日(日)10:00～19:00

つれづれツアー『信州 安曇野の旅』お誘い

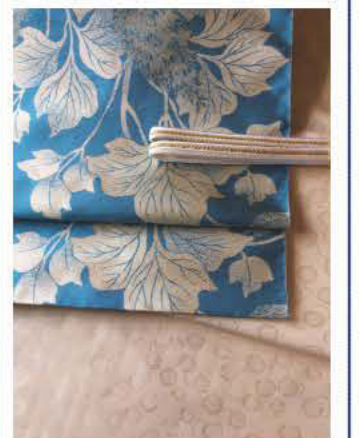
今年、市制施行10周年を迎える長野県安曇野市の市民提案事業として、チャコちゃん先生の講演会「きものに学んだ心と身体の健康と立居振舞」が開催されます。みなで一緒に、1泊ツアーで出掛けませんか。

日時: 11月22日(日)～23日(祝・月)
(セミナーは22日午後)

場所: 安曇野高橋節郎記念美術館

* 宿泊は安曇野市内の素敵な宿予定です
参加費: 40,000円位 (セミナー参加費無料)
交通費、現地移動費、宿泊費、食事代、お茶代含む。
美味しい信州蕎麦もお楽しみに。

詳細は決まり次第、サイトでお知らせ & 次号にてお伝えいたしますが、お申し込みは開始しております。お早目のお申し込み、お待ちしております。(担当/関戸まで)



9月中は単衣の会も開催中です。あわせて、ご覧ください。

講座のお知らせ

●『比佐子つれづれ』●

チャコちゃん先生がきものを通じて学んだことをつれづれにお話いたします。2015年のテーマは「江戸」です。

9月26日(土)13:30～15:30
10月24日(土)13:30～15:30
11月28日(土)13:30～15:30

会費：3,300円(税込。お茶、お菓子付)

予約不要

●「着物解体新書」●

チャコちゃん先生がイチから着物の紐解く講座、『着物解体新書』。着物ビギナーさんも、長く着物を着てきた方も、改めて着物を見つめなおしませんか。

9月4日(金)18:30～20:00、19日(土)13:30～15:00
「紐を解体」
10月2日(金)18:30～20:00
「帯を解体」
11月6日(金)18:30～20:00、19日(木)13:30～15:00
「脱ぐを解体」

会費：3,300円(税込。お茶 & お菓子付) 要予約

●『きものと健康』講演会●

京王百貨店6F呉服売り場内「おび冉(ぜん)」でも、チャコちゃん先生のミニ講座が開始されることになりました！「着物解体新書」の内容をダイジェストで、初めからお話いたしますので、聞きそびれた方、週末ならという方、ぜひお出かけください。

日時：9月20日(日)
10月31日(土)
11月14日(土)
各日14:00～15:00

場所：おび冉
(京王百貨店新宿店6階和装売場)
参加費：無料(定員10名)予約不要

●楽しいお針の時間 手芸教室「リバーシブル三角袋」●

大好評の「三角袋づくり」！指ぬきを使った運針を教わりながら、便利なエコバッグをリバーシブルで作ります。お針が苦手な方も、ぜひどうぞ。

日時：9月27日(日)13:30～15:00

参加費：3,500円(材料費+製作費込)

要予約

講師：大月厚子(手芸家。ドレスメーカー学院卒業。ぬいぐるみデザイナーを経て、洋裁&和裁技術で衣類から小物迄手掛ける。秋櫻舎の着類、雑貨類他も制作。)

●自分で出来る！『ヘアレッスン』●

大人気講座となったヘアレッスン。普段の自分のやり方から発展させて、上手くまとめるための基本テクニックも、アレンジも、さすがプロ！の技を教えてくださいませんか。髪質、個性に合ったアドバイスで印象がぐっと変わります。

日時：9月16日(水)13:30-15:30

参加費：4,500円(お茶、お菓子付)

要予約

講師：穂積佳奈(ヘアメイクアップアーティスト。TV関係、写真スタジオでも活躍中。仕上がりの品の良さと秋櫻舎のお客様にも大好評。)

《予告》 恒例！

X'masパーティのご案内

年末恒例のパーティ。今年はちょっと趣向を変えて、ステキな後藤泉さんのピアノコンサートを楽しみながら、年末のひとときをご一緒に。今から予定しておいてくださいね。

衣装のご相談も承っております♪

日時：12月5日(土)12時位から

会場：ステキなサロンカフェ予定です

ご予約お待ちしております！

●東京探訪ツアー●

要予約

きものを着てちょっとお出かけ。まだまだ知らない東京の街の楽しみをみつけに行きましょう！チャコちゃん先生のガイド付きです♪

9月17日(木)13:00～16:00

場所：日本民芸館(駒場東大前)
「生誕120年記念 芹沢銈介展」

民芸を代表する染色家を再発見！

参加費：3,500円(入館料込)

10月22日(木)13:00～16:00

場所：浜離宮～浅草神社界隈
江戸解友禅柄誕生の浅草神社から浅草見番のある古い町並も散歩♪

参加費：3,500円(入館料込)

*11月は26日(木)予定です。



初めてのインタビュー

雑誌記者としてのスタートは「楽しい五年生」そのとき始めてのインタビュー相手が王貞治さんでした。ニコニコ顔と誠実さ、新米の私を気遣ってメモを取る私の手の速度に合わせて、ゆっくり話を進めて下さったり、私は恐縮して汗びっしょりになりながら、無事インタビューを終えた日を思い出しました。

その後三年経ち、いっぱいしの記者になった私は今度は女性誌の記者として、長島さんをインタビュー。巨人軍の多摩川練習場に行きました。撮影が終わりインタビューも無事すんで、目をグラウンドに転じると、バッテリー練習をしている王さんの姿が見えました。

と、王さんが此方を見てニッコリ笑って手を振るではありませんか。あれから三年経ち、しかも天下の「OH」として大スターになつていたので、まさか私を覚えていて下さるとは思いもしません。慌てて最敬礼をしたものです。

それ以来の大ファン。甲子園のマウンドに立った王さんを見てそんな昔のことを思い出していました。

夏の甲子園は

麻・薄物・単衣と変化

夏の甲子園が始まる頃は夏まつさかり。浴衣姿で花火見物、と言う風情の日々、毎日30度を超す猛暑が続いています。湿気の多い日本の夏は「麻」素材が気持ちよく、私はこの時期ほとんど麻の着物で過ごしています。

しかも普通の麻の着物を浴衣風に着る事に、今年のはまっています。湯文字、胸当て、その上にいきなり着物を着ます。麻ですから余り透けないので助かります。履物は下駄に素足。帯は羅を「引き抜き結び」にして、帯板、帯枕を省略。本当に涼しい。

ところが甲子園が四回戦に入る頃、太陽の光や風が「着物浴衣風の着方」に合わなくなるのです。太陽光線に黄味が勝ってくるのですね。じとつとした汗もかかなくなりません。やはり足袋を履こう、麻の長襦袢を下に着ようという感覚になります。

準決勝、決勝になると「立秋」から処暑を迎え吹く風に秋を感じる日があります。

いままで敬遠していた絹の薄物を着ても好いかなという感じ。長襦袢も絹や紗の絹の物、肌が絹の優しさを求めます。

そして甲子園が終わると秋

麻はもう季節に合わないと思ってしまうのです。この時期になると。風がもう全く違うのですね。

薄物でも少し目の詰んだ経て絹や段縞の着物が肌に合う感じになり、帯も芯入りの塩瀬縞などの名古屋帯か紗袋を合わせたくなります。足袋も単衣から袷に。

そうだ単衣もぼつぼつ用意。絹縮や捻金の単衣は夏から秋にかけての定番。こうして季節が移り変わっていき長い夏が終わります。

四つの季節の中で一番変化に富んでいるのが夏のように思います。五月五日前後に始まる立夏から、春のような日々、肌寒い梅雨、梅雨明けのむしむしした暑さ、かっと照りつける太陽もまぶしい大暑、そして立秋。変化に富んだ季節は、其れだけ着る素材も変化に満ちていて愉しい。甲子園は其の楽しさを満喫できる季節の誘導行事のように私には思えるのです。

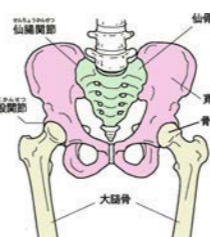
着物解体新書 ダイジェスト

着物は身体に着けるもの
身体は骨と筋肉そして細胞で構成されている
自分の体は自分で管理
自分自身の心は自分自身が自分で用います
着物を着るといふことは
自分の身体を識る事
毎月行われている解体新書ダイジェストを、少しだけお伝えします。もっと詳しく知りたい！という方は、是非お出掛け下さい。

第二回 「湯文字」

◆ 柳腰で裾つばまりの着姿に◆

足袋の次に身に着けるのは腰回りのラインを整える「湯文字」。いわゆる「小股の切れ上がった」美しい着姿をつくるには、最も大切な下着。ヒップラインも下腹もキュッと気持ちよくあがりやすさながら、心地良い和製コルセットですね。



◆ 骨盤を整える ◆
もちろん美しいだけでなく、骨盤を安定させています。二本脚と上半身を繋ぐ役目で、身体を中心、丹田がある。更に女性の大切な臓器も抱えて、月のリズムで開閉を繰り返す骨盤を安定させ、整えることは何とも心地良く、予想以上に心身の健康に効果を発揮します。
素晴らしい日本最古の下着。巻く時は呼吸も大事、身体の動かし方も大事！湯文字レッスン(無料)へ、是非どうぞ。